

今月の最優秀作品

漢字条幅

祥穂 佐藤 陽菜 紙面の白を生かす鋭い筆致により、行書の躍动感を見事に表現した迫力ある作品。今、中三とか。将来が楽しみ。

(選評 八尋 光華)



陽菜
書

かな条幅

セブ 岩崎 桧菜 漢字と仮名の調和がお見事。文字の濃淡、疎密の変化があり、連綿も滑らか。夢違観音様の優しい微笑を感じさせる。

(選評 中村 紫泉)



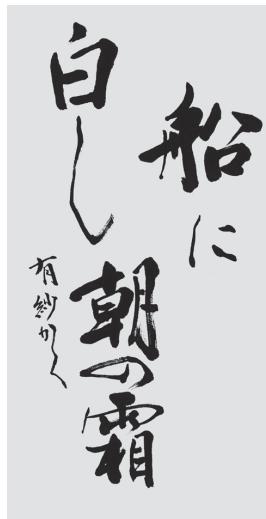
かな半紙

新和様



宮部
小野 由衣那

漢字半紙



セタ 福田 有紗

線質が美しく名前までの布置がバランス良く整った。太細、潤渴が効き見事な書きぶり。冬の情景が浮かぶ迫力ある作品。

(選評 山崎 貴子)

宮部 小野田衣那

古典をよく理解し、筆致の確かさや均整の取れた高い構成力が光る。名前も品良く収め模範となる臨書作品となった。

(選評 池田 彩雲)

風が白みかかゝった山々の方から吹き抜けると、木は風に訴えるように葉の密生した梢を鳴らす。

ペン 楓 持田 結空 線質に力強さと勢いがあり、風が吹き抜けるような流れが感じられ、気持ちのよい作品。本文と名前の調和も素晴らしい。

(選評 多田 溪翠)

楓 教室
七 段
氏名(楷書)
持田 結空

級

碧空 高井 愛佳

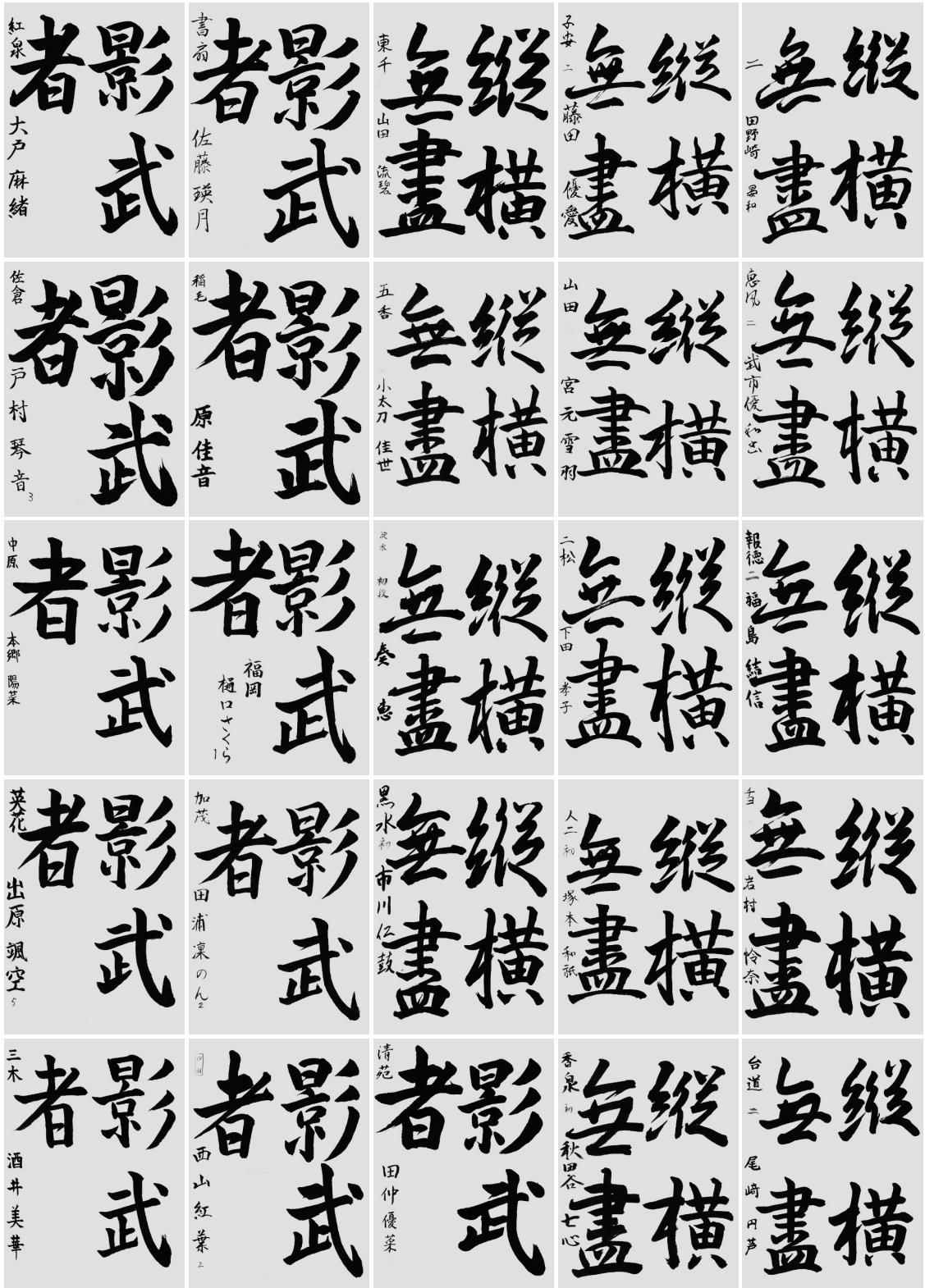
線の太細、息の長い連綿など、生き生きとした筆の動きをよく捉えている。真摯な臨書態度が窺える。名前の位置はもう一考。

(選評 平川 恵翔)



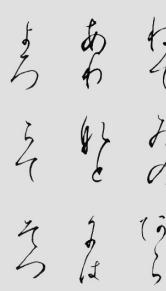
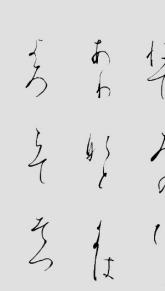
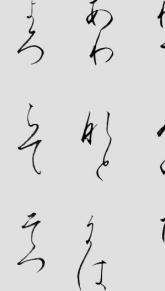
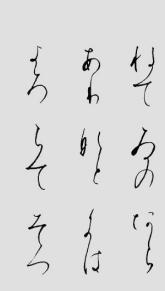
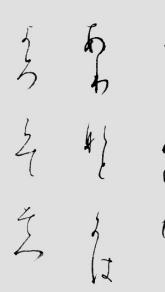
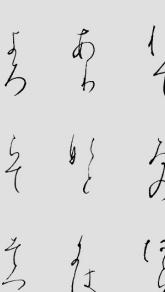
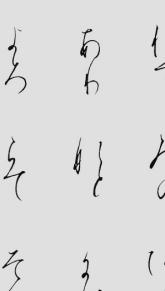
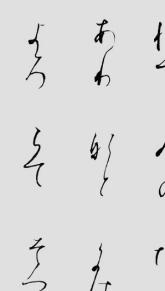
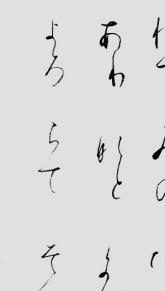






<p>若林 二青木結奈</p> <p>大佛の 冬日もやが二うゑ あら</p>	<p>大部 三田村愛苗</p> <p>大佛の 冬日もやが二うゑ あら</p>	<p>文月 四段 山本望生</p> <p>大佛の 冬日もやが二うゑ あら</p>	<p>郁野 八片岡啓太</p> <p>大佛の 冬日もやが二うゑ あら</p>
<p>鶴城 神細井陽加里</p> <p>大佛の 冬日もやが二うゑ あら</p>	<p>書倫 木村有希</p> <p>大佛の 冬日もやが二うゑ あら</p>	<p>日吉 四高田和歩</p> <p>大佛の 冬日もやが二うゑ あら</p>	<p>セフ 七 岩崎絵菜</p> <p>大佛の 冬日もやが二うゑ あら</p>
<p>高木 初 倉橋葵羽</p> <p>大佛の 冬日もやが二うゑ あら</p>	<p>紅葉 田村穂乃</p> <p>大佛の 冬日もやが二うゑ あら</p>	<p>高家 藤浪小春</p> <p>大佛の 冬日もやが二うゑ あら</p>	<p>和田 遥花</p> <p>大佛の 冬日もやが二うゑ あら</p>
<p>五香 佐久木真理子</p> <p>大佛の 冬日もやが二うゑ あら</p>	<p>神戸 春海翔</p> <p>大佛の 冬日もやが二うゑ あら</p>	<p>瑞江 三 鈴木恵菜</p> <p>大佛の 冬日もやが二うゑ あら</p>	<p>福岡 五 本田佳菜</p> <p>大佛の 冬日もやが二うゑ あら</p>

今月の優秀作品

<p>香井 青山真夕</p> 	<p>蘭友 熊谷奈子</p> 	<p>法水 加藤優由</p> 	<p>ハル 梅原杏莉</p> 
<p>梅書 椎瓶文乃</p> 	<p>桶川 山崎咲音</p> 	<p>園 泉明日香</p> 	<p>長太 伴野真優</p> 
<p>能見 松村ひなた</p> 	<p>品濃 花井彩名</p> 	<p>松浅 北口和臣</p> 	<p>半 木原暖心</p> 
<p>二松 後閑愛結</p> 	<p>里見 彩乃</p> 	<p>大井 久保田莉央</p> 	<p>桂書 細野真友</p> 

天法道 天法道

天法道 天法道

天法道 天法道

天法道 天法道

小杉

真季

川合

真季

姫春

高森

美稀

沙扇

宇田

彩乃

川園

新藤

百々果

日暮飛鳥還

日暮飛鳥還

魁翔書

仙水

西宮

魁翔

空

沖繩

平良

空

日暮飛鳥還

日暮飛鳥還

奏太朗書

清月

矢嶋

奏太朗

萌花書

七夕

刈谷

萌花

日暮飛鳥還

日暮飛鳥還

優奈書

北城

白倉

優奈

瑞乃書

夕

高木

瑞乃

<p>船に 白し朝の霜</p> <p>桶川 山崎 哀音</p>	<p>船に 白し朝の霜</p> <p>AN 出町茉美花</p>	<p>船に 白し朝の霜</p> <p>白鳥 山手 ゆき</p>	<p>初雪や 水仙葉代</p> <p>郁野 片岡 啓太</p>	<p>草於に水仙 葉代</p> <p>百花 奥田 陽羽</p>	<p>草於に水仙 葉代</p> <p>そり 永山 叶子</p>
<p>船に 白し朝の霜</p> <p>小平 谷川 俊介</p>	<p>船に 白し朝の霜</p> <p>厚木 勝崎ほのか</p>	<p>船に 白し朝の霜</p> <p>光書 平野 美桜</p>	<p>初雪や 水仙葉代</p> <p>片岡 啓太</p>	<p>初雪や 水仙葉代</p> <p>郁野 片岡 啓太</p>	
<p>船に 白し朝の霜</p> <p>白鳥 山手 ゆき</p>	<p>船に 白し朝の霜</p> <p>日吉 西川 依里</p>	<p>船に 白し朝の霜</p> <p>一倫 深田 琴子</p>	<p>初雪や 水仙葉代</p> <p>上原 羅央</p>	<p>初雪や 水仙葉代</p> <p>上原 羅央</p>	
<p>船に 白し朝の霜</p> <p>新木 横山蒼汰郎</p>	<p>船に 白し朝の霜</p> <p>有斐 阿久津美文</p>	<p>船に 白し朝の霜</p> <p>白根 星 彩朱花</p>	<p>初雪や 水仙葉代</p> <p>宇野 友徳</p>	<p>初雪や 水仙葉代</p> <p>かか 宇野 友徳</p>	

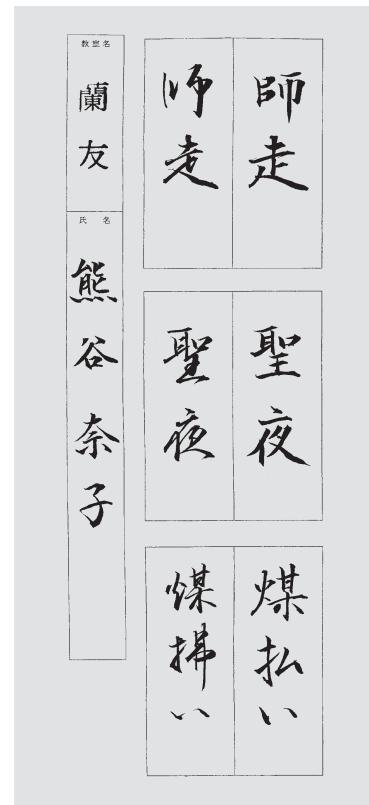
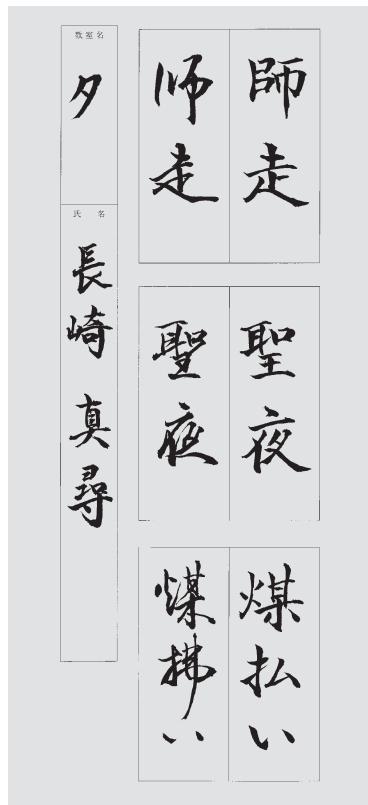
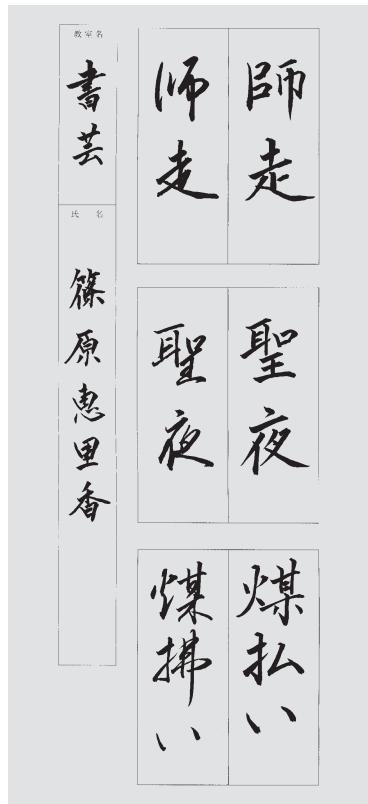


今月の優秀作品

光書 教室	八段 氏名(横書き)	友永実来	風が白みかかた山々の方から吹き抜けると木は風に訴えるよう葉の密生した梢を鳴らす。
大道 教室	八段 氏名(横書き)	山下達香	風が白みかかた山々の方から吹き抜けると木は風に訴えるよう葉の密生した梢を鳴らす。
台道 教室	八段 氏名(横書き)	木村 優	風が白みかかた山々の方から吹き抜けると木は風に訴えるよう葉の密生した梢を鳴らす。
美花 教室	八段 氏名(横書き)	姫野 菜結	風が白みかかた山々の方から吹き抜けると木は風に訴えるよう葉の密生した梢を鳴らす。
佐倉 教室	八段 氏名(横書き)	加藤 美貴子	風が白みかかた山々の方から吹き抜けると木は風に訴えるよう葉の密生した梢を鳴らす。
大補 教室	八段 氏名(横書き)	齋藤 心音	風が白みかかた山々の方から吹き抜けると木は風に訴えるよう葉の密生した梢を鳴らす。
福岡 教室	五段 氏名(横書き)	村上奈津	風が白みかかた山々の方から吹き抜けると木は風に訴えるよう葉の密生した梢を鳴らす。
西宮 教室	六段 氏名(横書き)	坂口 緯音	風が白みかかた山々の方から吹き抜けると木は風に訴えるよう葉の密生した梢を鳴らす。
玉弥 教室	五段 氏名(横書き)	小川瑚子	風が白みかかた山々の方から吹き抜けると木は風に訴えるよう葉の密生した梢を鳴らす。
和同 教室	五段 氏名(横書き)	太田 そより	風が白みかかた山々の方から吹き抜けると木は風に訴えるよう葉の密生した梢を鳴らす。
静音 教室	五段 氏名(横書き)	澤田 満梨果	風が白みかかた山々の方から吹き抜けると木は風に訴えるよう葉の密生した梢を鳴らす。
高家 教室	七段 氏名(横書き)	藤浪 小春	風が白みかかた山々の方から吹き抜けると木は風に訴えるよう葉の密生した梢を鳴らす。
玉椿 教室	七段 氏名(横書き)	岡田陽奈子	風が白みかかた山々の方から吹き抜けると木は風に訴えるよう葉の密生した梢を鳴らす。
須坂 教室	七段 氏名(横書き)	伊東 遼祐	風が白みかかた山々の方から吹き抜けると木は風に訴えるよう葉の密生した梢を鳴らす。
有段 教室	六段 氏名(横書き)	水島舞依	風が白みかかた山々の方から吹き抜けると木は風に訴えるよう葉の密生した梢を鳴らす。
玉扇 教室	六段 氏名(横書き)	大島 杏菜	風が白みかかた山々の方から吹き抜けると木は風に訴えるよう葉の密生した梢を鳴らす。
高家 教室	七段 氏名(横書き)	足立 緑果	風が白みかかた山々の方から吹き抜けると木は風に訴えるよう葉の密生した梢を鳴らす。
光書 教室	五段 氏名(横書き)	里見 彩乃	風が白みかかた山々の方から吹き抜けると木は風に訴えるよう葉の密生した梢を鳴らす。
和同 教室	五段 氏名(横書き)	小元 鈴緒	風が白みかかた山々の方から吹き抜けると木は風に訴えるよう葉の密生した梢を鳴らす。
静音 教室	五段 氏名(横書き)	太田 そより	風が白みかかた山々の方から吹き抜けると木は風に訴えるよう葉の密生した梢を鳴らす。
福岡 教室	五段 氏名(横書き)	立花 穂佳	風が白みかかた山々の方から吹き抜けると木は風に訴えるよう葉の密生した梢を鳴らす。
西宮 教室	六段 氏名(横書き)	村上奈津	風が白みかかた山々の方から吹き抜けると木は風に訴えるよう葉の密生した梢を鳴らす。
玉弥 教室	五段 氏名(横書き)	小川瑚子	風が白みかかた山々の方から吹き抜けると木は風に訴えるよう葉の密生した梢を鳴らす。
和同 教室	五段 氏名(横書き)	澤田 満梨果	風が白みかかた山々の方から吹き抜けると木は風に訴えるよう葉の密生した梢を鳴らす。

今月の優秀作品

小笠 教室	二 段 氏名 渡辺 明佳	級	風が白みかかた山々の方から吹き抜けると、木は風に訴えるよつに葉の密生した梢を鳴らす。
福二 教室	二 段 氏名 木村 陽華	級	風が白みかかた山々の方から吹き抜けると、木は風に訴えるよつに葉の密生した梢を鳴らす。
東砂 教室	初 段 氏名 丸尾 梨紗	級	風が白みかかた山々の方から吹き抜けと、木は風に訴えるよつに葉の密生した梢を鳴らす。
美祢 教室	初 段 氏名 吉富 時央	級	風が白みかかた山々の方から吹き抜けと、木は風に訴えるよつに葉の密生した梢を鳴らす。
瀬戸 教室	田中 雅人	1 級	風が白みかかた山々の方から吹き抜けと、木は風に訴えるよつに葉の密生した梢を鳴らす。
高崎 教室	段 氏名 永森 幹人	2 級	風が白みかかた山々の方から吹き抜けと、木は風に訴えるよつに葉の密生した梢を鳴らす。
千葉 教室	二 段 氏名 今井 美慶	級	風が白みかかた山々の方から吹き抜けると、木は風に訴えるよつに葉の密生した梢を鳴らす。
青井 教室	二 段 氏名 指谷 星名	級	風が白みかかた山々の方から吹き抜けと、木は風に訴えるよつに葉の密生した梢を鳴らす。
梅鳥 教室	初 段 氏名 田村 若菜	級	風が白みかかた山々の方から吹き抜けと、木は風に訴えるよつに葉の密生した梢を鳴らす。
小平 教室	段 氏名 関 川みのり	2 級	風が白みかかた山々の方から吹き抜けと、木は風に訴えるよつに葉の密生した梢を鳴らす。
玉萩 教室	段 氏名 伊丹 せり	5 級	風が白みかかた山々の方から吹き抜けと、木は風に訴えるよつに葉の密生した梢を鳴らす。
法水 教室	初 段 氏名 泉家 明子	級	風が白みかかた山々の方から吹き抜けと、木は風に訴えるよつに葉の密生した梢を鳴らす。
桂書 教室	初 段 氏名 坂井 敏伍	級	風が白みかかた山々の方から吹き抜けと、木は風に訴えるよつに葉の密生した梢を鳴らす。
有馬 教室	初 段 氏名 森 本千尋	1 級	風が白みかかた山々の方から吹き抜けと、木は風に訴えるよつに葉の密生した梢を鳴らす。
遊心 教室	段 氏名 宮口 蓮	1 級	風が白みかかた山々の方から吹き抜けと、木は風に訴えるよつに葉の密生した梢を鳴らす。
紅泉 教室	段 氏名 大戸 麻緒	3 級	風が白みかかた山々の方から吹き抜けと、木は風に訴えるよつに葉の密生した梢を鳴らす。
小綱 教室	段 氏名 荒 典華	6 級	風が白みかかた山々の方から吹き抜けと、木は風に訴えるよつに葉の密生した梢を鳴らす。
浮羽 教室	段 氏名 山科 理子	7 級	風が白みかかた山々の方から吹き抜けと、木は風に訴えるよつに葉の密生した梢を鳴らす。
御影 教室	段 氏名 大觀 真花	3 級	風が白みかかた山々の方から吹き抜けと、木は風に訴えるよつに葉の密生した梢を鳴らす。
田口 教室	段 氏名 野田 梶乃花	1 級	風が白みかかた山々の方から吹き抜けと、木は風に訴えるよつに葉の密生した梢を鳴らす。
松浅 教室	段 氏名 北口 和臣	1 級	風が白みかかた山々の方から吹き抜けと、木は風に訴えるよつに葉の密生した梢を鳴らす。
中条 教室	初 段 氏名 橋谷 海空	級	風が白みかかた山々の方から吹き抜けと、木は風に訴えるよつに葉の密生した梢を鳴らす。
紫泉 教室	二 段 氏名 河西 舞子	級	風が白みかかた山々の方から吹き抜けと、木は風に訴えるよつに葉の密生した梢を鳴らす。



<漢字一字書>

